様式第３号（第６条関係）別紙

議員特別研修実施報告書

報告議員名	青山　豊	報告日	令和８年７月１５日
調査研究・研修等 名　　称	① 多摩市行政視察　②国会内研修会		
実　施　日	令和８年７月９日～１０日		
会　　場	① 多摩市役所　②衆議院第一議員会館		
調査研究・研修等の 概　　要	① 多摩市 ・緑地内樹木更新モデル事業 ・スマートフォンアプリ「マイシティレポート」 ② 衆議院第一議員会館 ・クマ対策		
調査研究・研修等の 成果と感想	別紙参照		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。
※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。

特別研修報告

●多摩市

① 緑地内更新モデル事業

「多摩ニュータウン」に代表される大規模開発で発展してきた多摩市は東京で最も多くの公園緑地が整備されている。それは多くの樹木を抱えているということでもあり、枯れ木の伐採が大きな財政負担となっている。

ということで、大径木化、高木化した樹木が多くを占める公有林がある緑地をモデル選定して萌芽更新等の試験施工を行ってるのが「緑地内樹木更新モデル事業」。

財源は都の環境政策加速化事業からの交付金と森林環境譲与税を活用。樹木医の資格を持った専門家と一緒に調査、伐採をしたり、伐採後の萌芽のしやすさを考慮して冬季に作業を実施したり（←これは横手市はムリ）、市民理解を得るための周知を徹底するなどの工夫で事業を推進中。

多摩市は「グリーンボランティア活動」と呼ばれる緑地保全ボランティアも盛んで、今後はそのような団体との連携により公有林管理の活性化が期待される。

横手市は多摩市と違い、小規模な公園が多いのが特徴だが、このような取り組みは財源含めて十分に反映させることが可能ではないか？と思う。

② スマートフォンアプリ「マイシティレポート（MCR)」

住民が道路や公園などの不具合を発見したらアプリで通報投稿するもの。横手市も「道路異状情報連絡フォーム」という同じような仕組みがあるが、この MCR は対応後の状況もアプリ内に示すことができる。対応箇所をデータ化することによって、対応漏れの防止につながり、担当職員による対応の迅速化や緊急度合いの把握が可能となった。

非常に安価で導入できるとのことで、横手市の既存システム活用の効果や比較を調査してみる必要性がある。

●衆議院第一議員会館

クマ対策について

環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室の方々から直近のクマ対策について説明をいただいた。

省庁横断で用意している補助メニューには多種多様なものがあることを認識することができた。一方で、各自治体がその情報をどうキャッチし、内容を理解しながら自らの対策に活用していけているのか？という部分が気になった。

クマ対策は地域づくりに直結しているという認識は共有できた。空き家や放任園といった課題を同時並行的に解決していく能力が問われていると感じた。

環境省の方々も「現場の声」を聞きたいとのこと。そうした意味でも良い意見交換ができた。